

大分県PTA



はぐく美

発行所

大分市大字下郡496-38 大分県教育会館2F 大分県PTA連合会 ☎(097)556-9055

責任者 疋田啓二

印刷所

大分市下郡3154の22 九州凸版印刷株式会社



http://www.oita-pta.com/



県知事賞に『新風』

大分市立賀来小中学校育友会

4月18日、第39回大分県PTA広報紙コンクールの表彰式が大分県教育会館で行われた。県内の小・中学校PTA・育友会から、124点の応募があり、48点が受賞した。

表彰式では来賓・受賞校の代表者約60名が出席する中、疋田啓二県PTA連合会長が「広報紙は学校の歴史とともにある。発行を重ね、学校の歴史やPTA活動、地域の伝統文化を伝える素晴らしい広報紙が残されている。広報紙を通して皆さんが発信された内容に、深く感銘を受けた。記事や写真のどれをとっても思いが伝わってくる。真摯に広報紙活動に向き合ってくれている。近年、大分県の広報紙は日本PTAのなかでも高く評価されている。入賞広報紙の縮刷版を各学校に配布している。今後の広報紙作成、PTA活動に役立てていただきたい」とあいさつした。



晴れやかな笑顔で

第39回 大分県PTA広報紙コンクール 2015



賀来神社 仲秋祭 賀来の市 九月一日〜七日

太鼓たたき隊 賀来神社では賀来の市が、旧暦の秋の夜更けに、賀来の市から、太鼓叩き隊が参加して、太鼓を叩きながら、賀来の市を盛り立てています。この太鼓叩き隊は、賀来の市の伝統行事として、賀来の市を盛り立てています。



賀来神社 奉納舞大会

地域の話も多く取り上げる「新風」

「新風」は、地域の話題も多く取り上げる。児童生徒の生活状況や保護者の思いを紙面で伝え、それらを踏まえたPTA活動を通して、家庭・学校・地域を結びつける広報紙の果たす役割は重要。この受賞を契機にさらに魅力ある広報紙づくりに取り組んでいただきたい」と祝辞を述べた。

審査員

- 帆足 三郎 (委員長) 大分合同新聞文化センター元顧問
岩尾 淳一 大分県PTA連合会「はぐく美」顧問
石井圭一郎 大分県教育庁社会教育課主任社会教育主事兼主幹(総括)
疋田 啓二 大分県PTA連合会会長 (敬称略)

尚、入賞紙のうち10枚が「全国小・中学校広報紙コンクール」に出展される。

お知らせ

☆第39回大分県PTA広報紙コンクール 優秀広報紙縮刷版 1冊800円で縮刷版を販売します。ご希望の方は、県PT事務局までお申し込み下さい。



はぐく美編集委員 募集 「はぐく美」編集作業のお仕事してみませんか? 詳細については下記事務局までお問い合わせください。

第39回 大分県PTA広報紙コンクール入賞校

- 県知事賞 「新風」 賀来小中(大分市)
県PTA連合会長賞 「ほうふ」 豊府小(大分市)
「滝尾つ子」 滝尾小(大分市)
「しきど」 敷戸小(大分市)
「だのはる」 大分大学教育福祉科学部附属小(大分市)
「夢つるや」 鶴谷中(佐伯市)
県議会議長賞 「つるおか」 鶴岡小(佐伯市)
県教育長賞 「育友会報威宜」 威宜小(日田市)
「おおやま」 大山小(日田市)
県小学校長会長賞 「明野の丘」 明野東小(大分市)
県中学校長会長賞 「台の原」 西部中(宇佐市)
大分合同新聞社賞 「あおがき」 大分大学教育福祉科学部附属中(大分市)
「広報ひがし」 佐伯東小(佐伯市)
「たかせ」 高瀬小(日田市)
OBS賞 「育てる目」 日岡小(大分市)
TOSテレビ大分賞 「ややま」 戴星学園(豊後高田市)
OAB賞 「つるみ台」 鶴見台中(別府市)
大分ケーブルテレコム賞 「まつのめ」 松岡小(大分市)

優良賞(順不同)

- 小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中
小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中
小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中
小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中 小中

「見逃さず」「妥協せず」 県知事賞受賞の大分市立賀来小中学校育友会佐藤美紀古。広報部長は「小中一貫校なので、広報部員の年齢層が幅広く、会話の内容が豊富。その内容からヒントを得て取り組んだ年間テーマは「育る気スイッチ」。今までにない内容になった。そのテーマが高い評価を得られて嬉しい。記事の内容に関しては例年とさほど変わらないが、読みやすさを重視したレイアウトで印象づける工夫をした。思いがけない受賞に、正直びっくりしている」と語った。

「はぐく美」として、美を育む、すべてが美でありたいという願望が含まれている。字面です。では何故「はぐくみ」なのか。みの音訓からは、未味弥魅三己自身実御深等の文字が思い浮かび、多方面の考えや生き方が連想されます。また、文字の点画は素朴な棒状、思いの文を世に輝かす意味で終筆は懸針。地柄は縦横斜線で市松模様組み、会員の至心方正と多様を意味しています。因みに五輪エンブレムで一躍脚光を浴びた市松柄ですが、私の作図の方が先で決って模倣ではありませぬ。私は若い頃からこの日本の伝統柄が好きで、昨年の書作品大作(5m x 5m)も市松柄です。特に江戸小紋柄の上品な緻密さが大好きです。地味? 古い? エッ! ではルイヴィトンはどうなの? もっと日本の伝統文化に誇りを持ちたいものです。▲佐伯小学校PTA紙「城山」の題字揮毫から50余年。数え切れない題字や表紙デザインに係れたことは本当に有難いことです。又一つ増えた私の遺産です。



▲新学期が始まり学校や家庭で各人各部署で気分新たに力強く踏み出している頃と。それにしても4月14日以来の地震被災の方々に、今年度の目標や生活方針の見直しを図られておられるのではと心よりお見舞い申し上げます。一方、天変地変は嘘のように若葉青葉は毎日に大きく色濃くなっています。若葉の力にあやかり一日も早い復旧を祈るばかりです。▲本紙の題字一新しました。今迄「波久、美」と変体仮名でしたが、「なんて書いてる? 読めない?」との声もあり、文書類は「はぐく美」と使用してきました。「はぐく美」は美を育む、すべてが美でありたいという願望が含まれている。字面です。では何故「はぐくみ」なのか。みの音訓からは、未味弥魅三己自身実御深等の文字が思い浮かび、多方面の考えや生き方が連想されます。また、文字の点画は素朴な棒状、思いの文を世に輝かす意味で終筆は懸針。地柄は縦横斜線で市松模様組み、会員の至心方正と多様を意味しています。因みに五輪エンブレムで一躍脚光を浴びた市松柄ですが、私の作図の方が先で決って模倣ではありませぬ。私は若い頃からこの日本の伝統柄が好きで、昨年の書作品大作(5m x 5m)も市松柄です。特に江戸小紋柄の上品な緻密さが大好きです。地味? 古い? エッ! ではルイヴィトンはどうなの? もっと日本の伝統文化に誇りを持ちたいものです。▲佐伯小学校PTA紙「城山」の題字揮毫から50余年。数え切れない題字や表紙デザインに係れたことは本当に有難いことです。又一つ増えた私の遺産です。

互いを思いやる心 詩に込めて

大分県PTA連合会は、平成27年度「三行詩コンクール」の県内審査を行い、応募総数236点の中から、部門ごとの大分県最優秀・優秀作品を決定した。
 足田啓二県P連会長が、最優秀賞受賞者の学校で表彰を行い祝福した。

三行詩コンクール 大分県最優秀作品



【小学生の部】
 大分市立東植田小学校 4年 首藤もも
 楽しい事は倍にして。
 つらい事は半分こ。
 家族はいつも同じ分だけ。



【中学生の部】
 豊後大野市立清川中学校 1年 三浦大典
 試合中に聞こえる お母さんの大きな声
 ちよっと 恥ずかしいけど 力になります
 いつも応援 ありがとうございます



【一般の部】
 国東市立安岐小学校PTA 手嶋宏美
 そうだね！ やれたね！ できてるね！
 子どものがんばり
 みとめよう。

三行詩コンクールは「たのしい子育て全国キャンペーン」を推進する文部科学省が、日本PTAと共催し募集、表彰を行っている。日頃から親子で話し合う大切さを社会全体に呼びかけることを目的としている。*学校、学年は平成27年度当時



思いを届けるために

大分県PTA連合会は、5月1日に16郡市の代表者ら20名で「熊本・大分地震災害義援金」を募る活動を行った。
 大分駅北口、大分市のトキハわさだタウン・フェスタ広場の街頭募金に寄せられた義援金は、331,271円。
 この義援金は、今後被災した方のために使われる。

「熊本・大分地震災害義援金」街頭募金活動を実施

防災教育モデル実践事業

生き抜く力を 身につける

県教育委員会主催による平成27年度「防災教育モデル実践事業」が、県内の各学校で実施された。
 当事業は平成24年度より実施されており、本年度は4市（臼杵市・佐伯市・中津市・日田市）において、幼・小・中・高・支援学校それぞれを含む全8校で実施。
 佐伯支援学校や中津支援学校では、災害後の具体的な保護者連絡・引き渡し訓練が行

われた。また、日田林工高等学校では、豪雨による河川氾濫などを想定して地域住民と連携・協力した、より具体的な避難訓練がなされていた。
 各学校で、救助活動が始まるまでの時間をどう生き抜くかの学習もあり、オリジナル防災グッズの製作などが行われていた。
 平成28年度の防災教育モデル実践事業では、地震や津波などの災害だけではなく、県内各地域の実情に応じた防災教育についての研究・実践が行われる予定。

これまでもモデル指定校の実践事例を基に、質の高い防災教育が県内全域に浸透していくことが期待される。



大自然に抱かれて

平成27年度
日本PTA国内研修事業
 沖縄県・渡嘉敷島
 3月26日～30日

豊かな心を 育む

に表現し、泣き出した友だちを見たとき、自分も自分自身の気持ちに素直になろうと思いました。このキャンドルを機に僕たち7班は信頼しあい、ともに認め合う仲間になりました。大きなトラブルもなく、一日一日を大切に過ごしました。僕はこの班になって良かったと感じました。
 空港までの間、班以外の人にもTシャツにメッセージを書いてもらったり、話をする機会があり、僕は話が尽きませんでした。とても楽しい時間でした。
 研修の事をまとめると、用紙が何枚あっても足りません。大人になって、またみんなで集まってこの研修のこと、そして大人になった自分達の事を語り合いたいです。

**成長できた自分と
新しい自分**
 臼杵市立北中学校
 2年 神田 伝央
 自分はこの研修を通して、とても多くの事を学び、感じる事が出来ました。その中でも大切だと思ったのは、自分の「弱み」と「強み」、「悪い所」と「良い所」を再認識できたことです。
 僕の悪い点は、初めての場所では自分を出すことが出来ないことです。学校では先生から注意を受けるほど元気に騒ぐ方ですが、この研修でもうまく自分を表現することができませんでした。しかし、キャンドルの時、自分を素直

に表現し、泣き出した友だちを見たとき、自分も自分自身の気持ちに素直になろうと思いました。このキャンドルを機に僕たち7班は信頼しあい、ともに認め合う仲間になりました。大きなトラブルもなく、一日一日を大切に過ごしました。僕はこの班になって良かったと感じました。
 空港までの間、班以外の人にもTシャツにメッセージを書いてもらったり、話をする機会があり、僕は話が尽きませんでした。とても楽しい時間でした。
 研修の事をまとめると、用紙が何枚あっても足りません。大人になって、またみんなで集まってこの研修のこと、そして大人になった自分達の事を語り合いたいです。
 初めて聞かれた時は、まさかそのようなことを聞かれるとは思っていませんでした。幼い長女でもわかるように「生まれた年が違うから誕生日の月の順番は関係ないんだよ」と何度も何度も誕生日が来るたびに、図を書いて説明をしたりしながら、数年間にわたり伝えようとしてきました。しかし、理解出来るようになったのは、小学3、4年生でした。
 そんな長女も今では大学生。来年からは社会人。次女は親元を離れ、他県での大学生生活を開始しました。三女は少し歳が離れており、中学生。部活動に精を出しています。
 あの頃は教えるのを難しく感じ、誕生日会の準備のたびに今年はどう説明しようかと考えていましたが、そんな子どもたちもいつの間にか自分で理解できるようになり、だんだんと大人になっていくのを寂しくも、頼もしく感じている今日この頃です。
 別府市立山の手中学校
 PTA会長 後藤 智



PTAの沿革

PTAとは(Parent Teacher Association)の略で、保護者と教職員が協力し、子どもの健全育成を図ることを目的とした社会教育団体。

1890年代のアメリカで生まれた活動が、戦後の日本にも取り入れられ、昭和22年、文部省に「父母と先生の会委員会」が設置された。翌昭和23年には全国の小・中学校の7割に設置されるなど広まっていった。

各学校単位で組織され、体制や運営方法に違いはあるが、児童生徒のためのボランティア活動を行う。

今考える

新入学、新学期、家庭訪問、PTA、役員決め。春になると、多くの母親たちは落ちつかない。特に緊張が走り、どんよりとした空気が漂うのは、役員決めの時間だ。できるならやりたくない、時間が足りない。そもそもPTAとは何か、PTA活動の意味とは何か、改めて考えて見る。

PTAの意味とは

学校は、学習の場としてだけでなく、様々な学校行事を行ったり地域行事への参加により、学校生活を充実させ児童・生徒の健全育成を目指している。しかし、それら全ての行事を行うためにはPTAのサポートも重要な役割を果たす。運動会の交通整理、テント張り、地域のお祭りへの参加など、保護者の協力なしに行うのは難しいものも。また、PTAが主体となって行うバザーやベルマーク収集などは子どもたちの学習環境を整えるのに役立つ。

PTAは基本的に学校単位で組織され、その活動は地域や学校により様々。PTAが何のためにあるのかわからない、不要だという意見は常に議論されるところであるが、PTAの意味、活動への理解不足、やらされている感もその一因かもしれない。



Illustration by Taiga Tanda

時代にあつた組織へ

Bさんは、忙しい中PTA活動に取り組んできた。時間のやりくりが大変だった時もあつたけれど多くのことを経験し、多くの人と知り合った。この春、上の子どもは大学生に。子育ての時間はあつたという間だった。振り返ってみると、忙しいと思つていたPTA活動も、関わってきた期間はほんの少しだったと思う。その短い時間に、その時だけしかできないことを経験したし、何より楽しかった。子どものために、自分のために、PTAに関わってきたことが、今の自分を作っていると思つた。

つながりを求めて

春、Aさんは悩んでいた。子どもの初めての受験、進路選び。ご主人の転勤で引越したばかりの土地で悩む中、以前PTA役員で知り合った先輩ママにメールした。「今

行けるところが志望校じゃないよ。行きたいところが志望校。まだ頑張るよ」と励ましてもらい心が軽くなった。子どもの学年が違つた親同士なかなか知り合う機会はない。PTAを通して色々な年代の方たちと知り合えたことは財産だと思つた。

春、Aさんは、新しい学校のことをもつと知りたいたいと広報部に立候補した。地域の人の安全確保、避難所の運営まで、P会長や自治会長が協力し主体となつてまわつていた。行政だけの力では及ばなかつたことで、日頃からのPTA・学校・地域のつながりが、甚大な被害をもたらした災害の中にあつて力を発揮したと言えるだろう。

代。しかし、その反対に、大人も子どもも、SNSでは広いつながりを求めている。そうしてむしろ以前よりずっと様々な人との関係性を築こうとしている。いつの時代も人は人とつながって生きている。

よりのPTAのために

私たちは、保護者であると同時に、地域でもある。未来を担う地域の子どもたちを皆で育てているのだという意識も必要だろう。例えば、登下校時の旗当番、あいさつ運動などは、子どもたちの命を守るという点で大きな意味を持つ。自分が活動を行うことで、地域の子どもたちを守つていくと同時に、自分の



クランプル

バナナマフィン

朝が弱い息子は用意した朝ごはんを残すことも多い。従つてだんだん食卓は簡単に。食育に取り組み学校が増え「1週間の朝ごはん調査」などが行われたりする。ふと、息子のプリントを見る。「月曜 パン、牛乳」「火曜 パン、牛乳」「水曜 パン、牛乳」「木曜 パン、牛乳」「金曜 パン、牛乳」...

Recipe section for 'クランプルを作る' and 'マフィン'. Includes numbered steps and photos of the food preparation process.

Recipe section for '(マフィン型6~8個分)'. Lists ingredients like flour, sugar, eggs, and bananas with measurements.



楽しい子育て全国キャンペーン

～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～

三行詩募集

応募の方法

募集期間

平成28年5月9日(月)～6月20日(月)

募集対象

小学生、中学生、保護者、教職員等

選考

優秀作品を選考委員会で選定し、表彰状を贈呈します。

(表彰式は平成28年12月に東京都内にて開催予定)

応募方法

三行詩(短文)、氏名、年齢(学年)、学校名、住所、電話を記入し、下記の応募先へ提出してください。

応募先

在籍する学校のPTAへ提出

問合せ先

各学校PTA、お住まいの都道府県・指定都市のPTA連合会・協議会

応募用紙は日本PTA全国協議会のホームページに掲載しています。

三行詩募集

検索

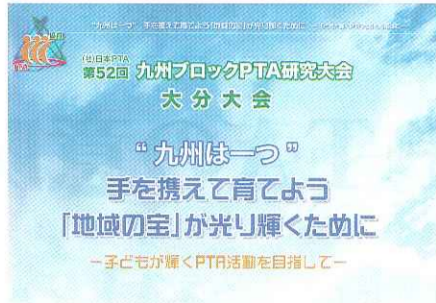
主催 公益財団法人 日本PTA全国協議会

後援 文部科学省 厚生労働省

前回の大分大会は平成19年

前回は

日本PTA九州ブロック研究大会「通称・九P大会」は全国のPTA協議会で組織される日本PTAを9つのブロックに分けた1つ、九州ブロックで、九州沖縄8県に政令指定都市である北九州市・福岡市を含む10の連合会が持ち回りで開催する。(熊本県は2012年に政令市に指定。現在ブロック協議会への参加に向け調整中)



第52回九P大分大会紀要から

企画準備委員会は平成27年12月4日、県内各都市P連の理事・事務局長等を含めた拡大協議において運営機構・要項等が協議され12月18日に第1回九P大分大会企画準備委員会が開かれた。翌平成28年2月8日、ロゴマーク審査会。県

企画準備委員会発足

原画採用

おめでとつございませう

大分市立城南小学校 3年(応募時2年) 坂口 怜生さん

坂口さんの作品は、専門家の助言を受けながら完成された大会を盛り上げるため大会紀要他、各所で使われる。尚、表彰は平成29年10月22日九Pブロック大分大会の全体会で

大分大会の位置付け

平成27年7月13日九P研究大会準備委員会が発足した。足田啓二県P連会長をはじめとする委員によって九州ブロック研究大会大分大会の準備を進めている。

度第52回。分科会と全体会では活発な議論が交わされ、また、記念行事では創作ミュージカル「こころは命の星」を大分県PTA連合会の活動に九州各県からの注目が集まる。

それから10年を経た来年、平成29年10月21・22日。大分県PTA連合会の活動に九州各県からの注目が集まる。

今後、企画準備委員会の活動や、九P大会の注目ポイントをはぐくみ紙面で紹介していくので、ご期待を。



内の各小・中学生より寄せられた521点の力作(小学生334点・中学生177点)の中から14点に選ばれた。さらに3月3日・第2回企画準備委員会、3月25日・第3回の企画準備委員会を経て、ロゴマークの原画採用作品が決定した。また4月8日第4回、4月15日第5回、5月11日第6回と会議を重ね、準備が着々と進んでいる。



アルバムは お袋の心 これは「親子の対話は、作られた技術ではない。古いアルバムをめくりながら、子どもの成長を語るだけでよい」と説く、アルバムを利用した家庭教育法のアドバイスに重なる我が身の体験から、考えさせられた話である。

対話を深めるアルバム活用の提言には頷けるものがある。成長期、喜びや不安が交錯しあう中、子どもの生気の数々を、私たちは、親鳥がわが子を懐に抱くように、包み込むと共に、それを慈しむ。みずみずしさが詰まったアルバムは、「お袋」の姿に似ている。

【お詫びと訂正】 2月26日発行のはぐく美第325号2面「まなざし」でお名前に誤りがありました。お詫びして訂正致します。 (誤) 校長 大塚 美香 (正) 校長 大塚 美香

MS&AD 三井住友海上 三井住友海上の安心 GK 大分県PTA連合会 美保サービス株式会社 MS大分中央株式会社 24時間365日事故受付サービス

紙面刷新 はぐく美 題字 岩尾淳一(はぐく美顧問) チョココロナー担当 編集後記 2つ先日記りぎりまで下ろしたにも関わらず、息子の学生ズボンがまるで流行りの半端丈に。嬉しいような悲しいような(笑) (M) 中学校に入学した息子。いきなり増えた課題に悪戦苦闘しつつも、毎日楽しくてたまらない学校・友だち・部活が、はぐく美よ!! (K) 「ガミガミ言わない母」その理想が... 朝から親子でイライラしたためにの思いが逆効果。年度始め、紙面の様に刷新すべき我が態度。(T) 5年前に父が亡くなり、母が一人で暮らす家が今回の地震で被害を受けた。くじけずに立ち向かう母の背中が頼もしい。私の見本です。(O)

県P情報 第68回定期総会 6月3日(金) 第68回定期総会 6月17日(金) 幹事研修会